



平成27年7月

各位

公益社団法人 日本発達障害連盟
全日本特別支援教育研究連盟
全国手をつなぐ育成会連合会
(公財)日本知的障害者福祉協会
日本発達障害学会

第52回発達障害福祉月間への協力について(依頼)

日頃、本連盟事業にご協力いただき、心よりお礼申し上げます。
さて、福祉月間は今年で52回目を迎えます。
今年度も、従来どおり本連盟主催により、加盟4団体の協力の下に、9月1日から30日まで、別紙発達障害福祉月間実施要綱のとおり実施いたします。つきましては、下記の要領で皆様のご協力をお願い申し上げます。

記

- ① 各都道府県の関係団体におかれましても、緊密な連携を図り、地域に即した多彩な啓発行事等活発な活動を展開して下さるようお願い申し上げます。
- ② 実施要綱をお送りしますので、ご活用ください。
なお、要綱はお申し込みにより追送いたしますので、下記までお電話・ファックスまたは、E-mailにてご連絡ください。
- ③ お手数をおかけいたしますが、福祉月間終了後10月末日までに同封の報告書類に記入いただき、E-mailまたはFAXでご報告をご返送いただけますようよろしくお願い申し上げます。

第52回発達障害福祉月間事務局
公益社団法人 日本発達障害連盟

〒114-0015
東京都北区中里1-9-10 パレドール六義園北402号室
電話：03-5814-0391 FAX：03-5814-0393
E-mail：jlidmf@dream.com

担当：事務局 安川

第52回発達障害福祉月間

平成27(2015)年9月1日(火)～30日(水)

実施要綱

1. 趣 旨

2011年3月11日、忘れてはならないあの日から4年を越える時が過ぎました。私たちはこの大災害からの教訓を得て、今後高い確率で発生が懸念される様々な天災に備えるための研究を、2012年から厚生労働科学研究の一環として進めてきました。社会福祉法人であった全日本手をつなぐ育成会で理事をしていた主任研究者の金子健会長のもと、3人の分担研究者が集い研究を始めました。明星大学吉川かおり教授は生活再建調査にみる受援力の高め方—知的障害のある人と家族の場合—を担当しました。福島大学内山登紀夫教授は発達障害の子どもと家族に必要な支援—福島県の調査から—を担当しました。名城大学柄谷友香准教授と跡見学園女子大学鍵屋一教授(当時板橋区役所職員)は障害福祉施設における災害対応の実態と課題と事業継続計画(Business Continuity Planning)初動訓練に取り組みました。この研究は、被災後、発達障害関係の方への支援としては、避難所などでの過ごし方が難しいお子さんの家族から、SOS が発信されたことにより、関係する11の団体・組織によって「知的障害・発達障害、障害児福祉関係震災対策支援会議」が発足し、岩手県、宮城県、福島県に現地対策本部を立ち上げ、日常を取り戻す支援を行った事から始まりました。当時、公益社団法人日本発達障害連盟では、被災地支援に向けての募金活動を始めると共に震災対策支援会議に参加し、現地対策本部と連絡を取り合い具体的な支援を進めました。

52回目となる本年度の発達障害福祉月間では、今後、発生が懸念される様々な天災に備えて、特別な配慮が必要な人たちへの対応・支援が滞りなく進むよう、別紙プログラムにある研究成果の発表を行うと共に、ワークショップを通して発災時に必要な避難訓練を想定した事業継続計画(Business Continuity Planning)作成を模擬的に行います。

今なお被災地では引き続き仮設住宅での暮らしを余儀なくされている方々も多く、充実した地域生活の実現のためには課題が山積しています。

日常的な支援が必要で重要な事を、全国の皆さまに知っていただくきっかけを作り共に考えていただきたいと思えます。

全国の多くの皆様のご参加とご支援をお待ちしております。

2. テーマ

『ラブ&ピース。災害に備えて絆を深めよう!』
～被災地の復興とこれからの災害に備えて共生社会を実現しよう～

3. 期間

平成27(2015)年9月1日(火)～30日(水)

4. 中央行事(セミナー)

日時： 2015年9月5日(土) 9:30～15:30

場所： 明治学院大学 白金校舎 3号館

5. 主催

公益社団法人 日本発達障害連盟

- ・全国手をつなぐ育成会連合会
- ・公益財団法人 日本知的障害者福祉協会
- ・全日本特別支援教育研究連盟
- ・日本発達障害学会

6. 後援(予定)

内閣府、文部科学省、厚生労働省

7. 第52回発達障害福祉月間実行委員会事務局

〒114-0015 東京都北区中里 1-9-10 パレドール六義園北 402 号室

公益社団法人日本発達障害連盟内

TEL03-5814-0391 Fax 03-5814-0393 E-mail: jlidmf@dream.com

8. 活動

1. チラシの作成と配布
2. 中央行事 2015年9月5日(土) セミナー開催(後述)
3. 各都道府県知的障害関係団体連絡協議会の結成推進
4. 各種報道機関への資料提供およびキャンペーンの協力の依頼
5. 展示会、レクリエーション、その他の行事の開催、ボランティア活動の促進
6. その他講演会・協議会等の開催
7. 展示用パネル、スライドの製作・活用

中央行事(セミナー)

日時：2015年9月5日(土) 9:30~15:30

場所：明治学院大学 白金校舎 3号館

〒108-8636 東京都港区白金台 1-2-37

プログラム

(敬称略)

時間	内容
9:30-9:50	挨拶 研究の経緯 日本発達障害連盟 会長 金子 健
9:50-10:40	講演1 発達障害の子どもと家族に必要な支援 —福島県の調査から— 福島大学教授 内山登紀夫
	休憩
10:50-11:40	講演2 生活再建調査にみる受援力の高め方 —知的障害のある人と家族の場合— 明星大学教授 吉川かおり
	休憩
11:50-12:30	講演3 障害福祉施設における災害対応の実態と課題と事業継続計画 (Business Continuity Planning) 初動訓練 跡見学園女子大学 教授 鍵屋 一
12:30-13:30	昼食
13:30-15:30	ワークショップ 事業継続計画 (Business Continuity Planning) 作成 跡見学園女子大学 教授 鍵屋 一

講師、演題及び講義の時間については変更することもあります。

参加費 3,000円(資料代込み)

賛助会員の方は2,700円

※連盟加盟団体の会員と、連盟賛助会員とは異なります。

主 催： 公益社団法人 日本発達障害連盟

～ご宿泊について～

遠方よりお越しの皆様には、各自で宿泊先の手配をお願いしておりますのでご了承ください。

お問い合わせ先

〒114-0015

東京都北区中里 1-9-10 パレドール六義園北 402号室

公益社団法人 日本発達障害連盟 発達障害福祉月間係り

TEL:03-5814-0391 FAX:03-5814-0393

Email:jlidmf@dream.com

「第52回発達障害福祉月間」実施報告

団体名	
TEL/FAX	
E-mailアドレス	
行事・活動の名称	
主催者	
主旨	
期間(日時)	
場所	
参加者数	
主な内容・成果	
経費の財源	
実施上の問題点	
第52回発達障害福祉月間のチラシについて	
第53回(平成28年度)発達障害福祉月間にあたっての抱負、アイデア、ご希望等をお書きください。	

お手数ですが、福祉月間終了後10月末までにE-mailまたはFAXでご返送いただきますようお願い申し上げます。

E-mail : jlidmf@dream.com

FAX : 03-5814-0393